

V 水産海洋研究会 昭和43年度秋季シンポジウム

— 日本海における漁海況の諸問題 —

共 催 水産海洋研究会
日本海洋学会

日 時 昭和43年11月19日

会 場 京都府立舞鶴労働セツルメント

コソピーナー 小味山 太 一(京都府水産試験場)

座長(1~2)

1 底部冷水について

2 若狭湾の底層流について

座長(3~4)

3 日本海西南海域におけるスルメイカ漁場について

4 日本海マスについて

座長(5~7)

5 富山湾口部における流入量とブリ当才魚との関係について

6 佐渡定置網漁業におけるブリ漁況予報の仮説

7 若狭湾におけるブリ資源の添加に関する2・3の問題

座長(8~10)

8 マアジ当才魚の漁況におよぼす暖流効果

9 若狭湾西部の海況と漁況について

10 日本海の水産海洋研究について

石野 誠(東京水産大学)

山崎 繁(島根県水産試験場)

丹羽 正一(福井県水産試験場)

下村 敏正(西海区水産研究所)

名角 辰郎(兵庫県水産試験場)

田畑 喜六(石川県水産試験場)

上村 忠夫(日本海区水産研究所)

新井 勝己(富山県水産試験場)

黒岩 護(新潟県水産試験場)

上野山 清(福井県水産試験場)

渡辺 信雄(東海大学)

小川 嘉彦(山口県外海水産試験場)

神田 潔・坂野 安正(京都府水産試験場)

宮田 和夫(日本海区水産研究所)

1 底部冷水について

1) 序 論

日本海の沿岸水域で形成される冷水域には2つのモデルが考えられる。これらは何れも日本海固有冷水を冷水源として現われるもので、一つは暖流分枝間を湧昇(Upwelling)して生成される左旋性渦流と、他の一つは上層を流れる暖流下を潜流(Under-current)し大陸棚の上を

山崎 繁(島根県水産試験場)